



## 第9回運営委員会 結果概要

【日 時】 2023年1月19日（木） 13:30～15:12

【場 所】 オンライン会議（ZOOM）

【参加者】 中核機関5名、参画機関5名、及び事務局（別紙のとおり）

### 【概 要】

#### ● 開会挨拶

運営委員会委員長の椿広計統計数理研究所長より、第1期大学統計教員育成研修やアンケート調査への参加・協力に対する謝意を表明。また、今回の運営委員会では、①第2期研修育成対象者の選考結果、②自己点検報告書、③次年度の事業計画・委託費配分など、プロジェクトの重要な取組が議題となっており、忌憚のない意見をお願いしたいこと、第2期研修の育成対象者数が第1期研修より若干の減となったことから、必要な対応があれば意見をいただきたいことなどを要請。

#### ● 議 事

○ 統計数理研究所 山下智志 副所長の議事進行により、以下の議題について審議した結果、委員からの異議や修正意見等は示されなかった。

1 大学統計教員育成研修について

（1）第2期育成対象者（A・Cスキーム）の選考結果について

（2）第1期・第2期大学統計教員育成研修の研修計画について

2 自己点検の実施結果について

3 令和5年度の委託費配分に関する基本的な考え方について

4 令和4年度活動報告等の基本的な考え方について

5 その他

○ この審議結果を踏まえ、中核機関を中心に、①第1期研修第4クールの実施や第2期研修の準備、②アドバイザーボードの意見を踏まえた自己点検報告書の作成・公表、③令和5年度の委託費配分の具体化・周知、④令和4年度活動状況報告・令和5年度事業計画の準備などを進めることとなった。

○ 主な質疑応答は以下のとおり。

#### 【議題1関連】

- ・ 第2期育成対象者のうち「数学」を専攻分野とする者は何名いるのか。また、Cスキームの助教採用では、内定者が辞退した場合の繰り上げ採用などの措置は講じられるのか。  
→ 数学を専攻分野とする育成対象者は1名であり、第1期研修と同数。本研究所の助教公募では、次点者の繰り上げ採用は実施しないことが通例。
- ・ 全国的なデータサイエンス学部・研究科の新設ラッシュの中で、本プロジェクトへのニ

ーズは高まっていると考えられる。学部・研究科創設間もない大学では研修派遣を行う余裕がないことが、第2期育成対象者の減少に繋がったのではないかと。若手研究者のキャリアアップにも繋がることの周知など、何らかの対応策の検討が必要ではないかと。

→ 育成対象者数の平準化・効率的な研修実施という観点からも検討が必要。研修開始は若干遅れるが第2期育成対象者の追加募集など、幅広く検討してまいりたい。

- ・ 未だ研修生を派遣していないことから、第3期募集に向け、候補者の選考を鋭意進めて参りたい。

→ 参画機関として登録している学部・研究科に関わらず、学内で幅広く候補者を選考・推薦いただければありがたい。

- ・ 研修修了生のコミュニティを作って学会での発表を継続するなど、研修修了生に対する継続的な支援も検討いただきたい。

→ 例えば、①研修修了者をコンソーシアム特別会員と位置づけて連携を維持すること、②プロジェクトで整備した中核機関の資産（PC・データなど）を継続的に利用できるようにすること、③DS施設の高度人材育成事業と連携することなどを検討中。今後、ご相談したい。

#### 【議題2 関連】

- ・ 自己点検結果報告書は、良くまとまっており、感謝したい。

#### 【議題3 関連】

- ・ 統計エキスパート育成システム推進経費は、令和5年度以降も毎年配分されるという理解で良いか。

→ 令和6年度は第2期と第3期の研修が輻輳することから、推進経費の配分は困難ではないかと考えている。この点については、第3期育成対象者が決定次第、改めて精査して提案する予定。

- ・ 統計エキスパート育成システム推進経費は、少額であっても継続して配分いただけるとありがたい。また、間接経費の割合を抑制するという提案には賛成であるが、各参画機関の事務担当者にも十分に周知していただきたい。

→ 参画機関への連絡の際、窓口教員に加えて事務担当者も宛先に加えるよう徹底したい。また、調整の結果、機関ごとに割合が区々となることについてはご理解いただきたい。

- ・ 第1期研修は令和5年度も半年間継続する一方で、環境整備委託費の配分は令和4年度までとなっていることから、統計エキスパート育成システム推進経費をその補填として活用させていただきたい。

→ 参画機関の統計エキスパート育成システムの中で、第1期研修の育成対象者が一定の役割を担っているのであれば、その活動に必要な経費として利用することも可能と考えている。

#### 【議題4 関連】

- ・ 成果報告書は、参画機関の活動も重要な構成要素となっており、また、文部科学省の中間評価における資料としても活用される見込みであることから、内容の充実にご協力をお

願いたい。

(以 上)

文責：コンソーシアム事務局（統計数理研究所大学統計教員育成センター統括部）

## 別紙

### 第5回 統計エキスパート人材育成コンソーシアム運営委員会

#### 参加委員名簿

令和4年3月25日

#### 【中核機関】

- 椿 広計 (統計数理研究所長)  
山下 智志 (統計数理研究所副所長)  
千野 雅人 (統計数理研究所 大学統計教員育成センター長)  
中西 寛子 (同センター 研修部長・研修主幹)  
岩崎 学 (同センター 研修部 教育システム開発主幹)

#### 【参画機関】

- 狩野 裕 (大阪大学 大学院基礎工学研究科 教授)  
梶原 健司 (九州大学 マス・フォア・インダストリ研究所 所長)  
杉山 学 (群馬大学 情報学部 副学部長)  
椎名 洋 (滋賀大学 大学院データサイエンス研究科 教授)  
矢部 博 (東京理科大学 データサイエンスセンター長)

#### 【事務局】

- 澤村 保則 (統計数理研究所 大学統計教員育成センター 統括部長)